

2016年5月26日

第20回世界半導体会議（WSC）の開催および結果について

一般社団法人 電子情報技術産業協会

本日、韓国ソウルにおいて、世界の半導体企業の最高経営責任者（CEO）クラスによる世界半導体会議（WSC: World Semiconductor Council、以下、WSC）を開催しました。

WSC は、日本、欧州、米国、韓国、チャイニーズタイペイ、中国の6極の半導体企業および半導体工業会で構成されています。今回の主催国は韓国であり、議長は、韓国半導体工業会を代表してSK hynix 社 CEO の Sung Wook Park 氏が務めました。日本からは、JEITA 半導体部会・部会長である株式会社 東芝 常任顧問 齋藤 昇三氏、ルネサスエレクトロニクス株式会社執行役員兼 CTO 日高 秀人氏の2名が参加しました。

今回 WSC 設立 20 周年を祝して記念行事が開催され、これまでの半導体技術進歩と市場成長を振り返り、WSC 活動の成果を踏まえ、今後の更なる成長と社会への貢献を目指し、WSC ソウルステートメントを発表しました。各極 CEO から記念スピーチを行いました。

1. 税関と関税

昨年 12 月これまでの活動が実り、新型半導体であるマルチコンポーネント IC (MCO) を含む、WTO 情報技術協定 (Information Technology Agreement、以下 ITA) の拡大交渉が合意されて大きな成果となりました。

今後、関税分類の 2022 年改正 (HS2022 改正) に向けて、半導体ベースの変換器を含む半導体分類に含まれるべき製品が半導体関税分類(HS8541)の改正で反映されるよう、WSC は活動しています。今回、6 極業界が半導体ベースの変換器の定義の合意に至りました。

同一半導体製品が国によって異なる関税分類として扱われている問題について、WSC は GAMS や WCO と協力して解決の道を探っています。

2. 地域支援プログラム

半導体産業に対する政府の支援は透明で、開かれていて、保護主義や差別的または通商に悪影響を及ぼすものであってはならないと、WSC は主張しています。WSC は、GAMS に対してこの問題に深い見識を持つ官民の専門家によるワークショップを、今年 10 月の GAMS 会議に併設して開催するよう提案しています。

3. 知的財産権の保護

営業秘密は企業にとって重要な知的財産であり、WSC は営業秘密の保護強化のための各国の法制化の際に考慮すべき項目を提案しています。これは昨年 5 月 WSC 共同声明に“営業秘密の保護の法制化のための中核となる要素”と題して添付しました。

特許の質の改善についても、WSC は、世界知的所有権機構 (WIPO) と各国特許庁が協力して推進するよう提案しています。また、外国特許の出願許可要件の問題や特許訴訟の濫用についても取り組んでいます。

4. 半導体製品の反模倣品対策

WSC はこれまで、半導体模倣品の存在が、社会生活における健康・安全に与える危険性を周知する活動に取り組んできました。今年も、6 月 8 日に行われる世界反模倣品デーの活動を支援することを表明します。

5. 環境

WSC は、健全で積極的な環境政策と実践に努めてきました。WSC メンバーは、将来の更なる環境分野での改善を目指し積極的に取り組んでいます。

WSC は、1999 年以来地球温暖化ガスである PFC (Perfluorocompound) の自主的削減に取り組み 2010 年には自主目標をはるかに上回る削減を達成しています。2011 年には次の 10 年に向けて新たに PFC 削減の自主合意を公表していますが、5 年目にあたる 2015 年の実績は、絶対値で 2010 年比 4.5%減、ウエハー面積原単位で、17.1%の削減となりました。

半導体製造に必要な不可欠な化学物質の規制に対して、WSC は、政府当局に十分考慮するよう働きかけています。

6. マーケット

世界の半導体市場は 2015 年 3,350 億ドルの売り上げとなり、過去最高を記録した 2014 年に迫る規模となりました。地域としてはアジア/太平洋 (中国を含む) が、規模、成長率とも最大となりました。

7. 成長イニシアティブ

半導体産業の更なる成長に向けて、例えば、医療技術や自動車、IoT などの成長が期待される分野の進展のための提案を検討しています。また、半導体の成長を支える技術革新を実現するため、産業界、政府、学界が連携して、IT 革命を再構築することの重要性について今回 WSC では議論しました。

8. 暗号認証

WSC は、商用暗号製品の透明性と非差別性を強調する WSC 暗号原則を、GAMS がコミットするよう強く支援しています。2014 年、2015 年と GAMS に併設して開催された暗号認証セミナーの成果を踏まえ引き続き取り組んでいきます。

9. OECD BEPS

WSC は、昨年の OECD の税源浸食と利益移転 (BEPS) プロジェクトの結果を踏まえ、各国にて実施開始にあたり、特に国別報告書の取り扱いに関して提言しています。税務当局に提出された企業情報が、適切に取り扱われ、守秘義務が守られるよう求めています。

以上に加えて WSC は、世界的な貿易を前提としている半導体産業の成長に影響する可能性のある種々の規則の動向に大きな関心を持っています。

WSC は、関税障壁の撤廃、自由貿易の促進が半導体産業に多大な影響があることを認識しており、各国政府及び世界貿易機関(WTO: World Trade Organization)へ働きかけています。

WSC では、今回の結果として共同声明 (英文) を採択し、追って、Web サイト (<http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>) に掲載します。

次回は、2017 年 5 月に日本・京都にて開催予定です。

以上

(注) GAMS: Governments/Authorities Meeting on Semiconductors、半導体に関する政府/当局間会合

IoT: Internet of Things、モノのインターネット

OECD: Organization for Economic Co-operation and Development、経済開発機構

WCO: World Customs Organization、世界税関機構

WTO: World Trade Organization、世界貿易機関

(参考)

■WSC : 1996 年 8 月の日米半導体協定の終結を受けて、既にグローバル化していた半導体のビジネスを反映して、多極の場で世界の半導体業界の共通問題について協議することが必要との認識に基づき、日米業界で WSC の設立に合意、1997 年 4 月に日米欧韓の半導体業界が参加して WSC の最初のミーティングをハワイで開催、今回で 20 回目となる。

WSC の Web サイト : <http://www.semiconductorcouncil.org/wsc/>

添付資料 : WSC ソウルステートメント 